

支え合い・助け合いのまち



たけお通信

vol.4
2024.3



市内各9町に「生活支援拠点」設置。

若木町「ふれあい大楠の会」

～武雄市～

生活支援体制整備事業



「幸齢者応援のまち。たけお」を目指して

日本では、少子高齢化が進み、「2025年問題」や「2040年問題」に直面しており、武雄市も例外ではありません。今後、市民の皆様が住み慣れた自宅・地域で安心して過ごすことができる体制づくり（地域包括ケア）

アシステム）が必要となります。武雄市では地域住民が主体となった生活支援・介護予防サービスの充実が図れるよう、「生活支援体制整備事業」に取り組んでいます。

【生活支援体制整備事業で行うこと】

◎「協議体」の設置

地域で高齢者を支援する関係者間のネットワークづくりを目的として、第1層（市全体）と第2層（各町）に設置し、定期的な情報共有と連携強化を図ります。

◎「生活支援コーディネーター」の配置

生活支援コーディネーターは、協議体と同様に第1層（市全体）、第2層（各町）に配置されています。コーディネーターは、市民の皆様が、住み慣れた自宅・地域で安心して過ごすためにはどうすればよいかを一緒に考え、地域の高齢者の方のお困り事や悩み事を解決できるよう関係機関とつながる役割を担っています。

その他、事業の普及啓発を目的としたフォーラムの開催や広報誌の発行、また、地域で活動していただく**生活支援サポーター（有償ボランティア等）の養成**を行っています。今後は、各町によって異なる課題解決に向けて活動を行っていく予定です。

住み慣れた自宅・地域で
いつまでも過ごせるように
楽しくまちづくりを頑張ります。
お困り事があれば
ご相談ください。



第1層生活支援コーディネーター
（武雄市全域担当）
林 英慶

※「2025年問題」とは

2025年には団塊の世代の方が75歳以上となり医療・介護・年金などの社会保障費に影響するだけでなく、人口減少で財源確保や雇用問題などが考えられます。

生活支援について

令和4年4月より武雄市では生活支援事業が始まりました。

武雄市にお住いの高齢者の一人暮らし、または夫婦世帯の方で、ちょっとした困り事が在る方はご相談下さい。（第1層生活支援コーディネーター事務局または健康課まで）

生活支援サポーター養成講座を受講しサポーターとして登録して頂いた方が、ちょっとした困り事のお手

伝いを有償で行います。

お手伝いを依頼したい方は、申し込み後、チケットを購入頂く事で地域の生活支援サポーターがお伺いいたします。

お手伝いを行うサポーターも少額の報酬を受ける事で、継続性を保ち生きがいくくりとなります。



～地域での助け合い支え合い～
有償ボランティア

生活支援サポーター養成講座 参加者募集!!

武雄市では地域の高齢者の方へちょっとしたお手伝いを行って頂ける方の募集をしています。「ちょっとしたお手伝い」とは、短時間で直接的な介護を伴わないもので、誰にでもできる事。例えば、ゴミ出しや掃除、荷物の移動や買い物代行や話し相手などを予定しています。

ちょっとしたお手伝いを必要とする人と、お手伝いができる人をつなぐことで、住民同士の助け合いによる地域づくりを目指しています。皆さんも地域でふれあいと助け合いの輪を広げませんか?

支援の対象者

- ・武雄市内に居住する高齢者で生活支援サポーターの協力を必要としている方

サポーターの要件

- ・武雄市内に居住し、地域での活動に意欲のある方(資格不問)
- ・サポーター養成講座を受講して頂き、サポーターとして登録された方

ちょっとしたお手伝いの例

- ・ゴミ出し (資源ゴミや粗大ゴミ)
- ・掃除
- ・荷物の移動 (タンス等)
- ・買い物代行 (市内で済む程度)
- ・話し相手
- ・電球、蛍光灯取り替え (電球等はご用意下さい)
- ・ストーブ等タンクへ灯油の給油、移動等

今年度も第5期の養成講座を開催しております。1期からの受講者の中から155名程の生活支援サポーターの登録をして頂いております。今後もサポーターの仲間を増やしていくことで、市民の皆様が安心して自宅や地域で過ごしていける

る町づくりを目指します。地域での支え合い助け合い活動と一緒にやってみませんか? 興味がある方は1層生活支援コーディネーター事務局または健康課までご連絡ください。

生活支援サポーター養成講座

武雄町 TAKEO

第2層協議体

支え合い
“みふね”

メンバー構成

- ・区長・民生委員児童委員
- ・ボランティア ・公民館長
- ・保護司・町づくり協議会・地域婦人会
- ・生活支援コーディネーター等



楼門deサロン(講座)開催中!!

令和3年8月より「支え合い“みふね”よか楼門」が開所して、約2年半経ちました。12月末には1年の感謝を込めて、みんなで大掃除をおこないました。

よか楼門では、毎月第1月曜日には「楼門deサロン(講座)」を開催しています。9月・10月はスマホ初心者教室を



開催し、写真の撮り方やLINEの作り方などを指導していただき、早速、グループLINEを作ったり、写真撮影をしたりで楽しまれていました。毎週水曜日と金曜日には健康マージャンを開催しています。



作家さんによる作品の販売もおこなっています

令和6年4月より
よか楼門開所日
毎週月・水曜日
9:00～12:00



- 生活支援コーディネーター ●区長2名、民生委員児童委員7名
- 自治公民館長会長・JA女性部代表
- 老人クラブ連合会会長 ●ボランティア橘会会長
- 食生活改善推進協議会会長 ●食生活改善推進協議会会長

「みんなの家 橘」は1周年!

毎月1回歌声サロンで唱歌やカラオケを楽しんだり、スマホ講座の開催やヘッドセラピーなど民間団体とのネットワークにより、集いの場としての活動も広がっています。

また、地域サロンとの交流会を行い、各サロンの運営や日常生活の困りごとなど情報交換を行いました。

活動内容

- 協議体会議の開催
- 広報誌の発行
- 「みんなの家 橘」の運営
- 地域サロンとの交流
- 生活支援サポーターの養成

ふれあいまつりで熱唱!



地域サロンと橘ふれあい会の交流!



情報交換とレクリエーション
体験を楽しみました。

場 所 橘公民館横(旧松尾商店):橘町大字片白8478番地1

開所日 火・金 **時 間** 10:00~13:00(年末年始・お盆・祝日は休所)

TEAM つながる朝日

- TEAMつながる朝日会長:中尾泰文 事務局:下平正樹
 - ①朝日町公民館長 ②朝日町全区長 ③朝日町全民生委員
 - ④ボランティア朝日会代表 ⑤朝日町老連代表、
 - ⑥朝日町サロン代表、会計 ⑦生活支援コーディネーター
- で構成されています

『誰かのために居場所をつくる』のではなく、『自分の居場所を誰かとつくる』を心がけて。高齢者などの住みやすい町づくりをつくるにあたって新型コロナ感染が拡大する中で計画通りの会合ができない環境の中、2022年4月から開設しました。

キョウイク(教育?)「キョウイク」とは「今日も行くところがある」
「キョウヨウ(教養?)」「キョウヨウ」とは「今日も用事がある」とあるという。
「今日も行くところがある」というのは「居場所がある」ことで、「今日も用事がある」とは「出番がある」ことだと言い換えることができます。
出かけて行った先には気心の知れた人びとがいて、そうした人びとと協力して誰かのために役立つ活動をする。「キョウイク」と「キョウヨウ」を合言葉として、シニアの方が主役となって、わくわくと楽しめる場として活用していきたいです。



場 所
朝日町大字甘久2712番団
(旧朝日公民館 東側)

開所日
毎週月曜日10:00~13:00
(年末年始・お盆・祝日は休所)

活動内容

- ①生活支援サポーターの募集(朝日町29名)
および定期的な情報交換の場
- ②「健幸チャレンジカード」の
スタートで自主的な介護予防
- ③「絵手紙」などを定期的に活動し、
楽しむイベントを企画
- ④月1回程度の定期的な会合
※コロナ感染予防のため小集団で活動

つながる朝日拠点での活動イメージ

- ①縁側のように高齢者などが自由気ままに集い・通いの場として
- ②身の回りの悩み事や健康相談窓口など相談支援の場として
- ③日常生活を営む上で支援が必要な困りごとなど支える側となって活躍できる生活支援の場
- ④自ら介護予防できる風土の構築

健幸チャレンジカードスタート

健幸体験や自分の健康目標(期間中に8割以上の回数)を達成すると健康と景品を手に入れることができます。このカードをもとに健幸・長寿・元気のある朝日町を目指します。



サポーターによる「生活支援」

朝日町の生活支援サポーター(現在27名)と協力し支援を行っています。

- ・家具の分解と移動
- ・精米(1俵30キロ)
- ・敷地内での真竹収穫
- ・梅の実掃除 など



絵手紙の定期的開催

拠点の活動目的として「楽しむ」イベントを企画しています。





生活支援、介護予防、居場所づくりと活動を広げ世代を超えて“自助・互助”・“お互い様”がえられる、今よりもあったかい若木町を目指して!



場 所 ふれあい大楠館

開所日 火・金曜日

時 間 9:00~12:00

TEL 0954(33)0662

(年末年始・お盆・祝日は休所)

二人の相談員が対応します。

新しいサロンも3つできました!各区への居場所づくりも進んでいます。



話し合い
の場

第2層 おおくすの会

承認・協議

活動



活動の場

第3層 ふれあい大楠の会

生活支援

各区への居場所づくり

拠点の活用・運営

困りごと相談



地域で元気に!地域で支え合い!地域で寄り添う!ほほえみ会

武内町では、介護予防や生活支援の取組が充実しています。地域の相談窓口

「ほほえみ館」も開館中。「我がため」「地域のため」と支援の「わ」が広がっています。

場 所 ほほえみ館

開所日 月・水・金

時 間 10:00~13:00(年末年始・お盆・祝日は休所)

TEL 0954(22)1050



Facebook・Instagramでは
ほほえみ会の取組や活動、
まちの魅力を公開しています。



東川登町 HIGASHIKAWANOBORI



第2層協議体 ふれあいの家しなのめ

開所式から1年半、徐々に利用者の方が増えて、利用者の方から「しなのめは楽しか、しなのめに来るのが楽しみ」の声を聴き、さらに充実した取り組みを計画したいと思います。出前講座を活用し、学びの場を提供、お出かけサロンでマイクロバスを利用して、お出かけの楽しさ、引きこもりの予防、孤独の予防など高齢者が生き生きと生活出来る様にと考えております。

コスモス散策



地元のサークル活動をしなのめ披露してもらい、町民全体でしなのめ活動を支えてもらうよう進めています。

大村公園しょうぶ見学



初詣祐徳神社参拝



認知症予防出前講座



東川登小学校との交流会と給食試食会



場 所 旧内田公民館
東川登町大字永野6183番地
開所日 週1回(月、金週替わり)
時 間 10時～15時
(年末年始・お盆・祝日・休所)

西川登町 NISHIKAWANOBORI

第2層協議体 西川登町支え合い『かんころの会』



5年目に突入!!『送迎サービス』

合言葉は
「びんびん
コロリ!!!」

家で閉じこもりがち、話相手がいらないなどの高齢者を、町内の憩いの場「かんころの家」にお迎えし、お喋りしたり、遊んだり、体操したり、カラオケしたり、自由に過ごしてもらう「かんころ号送迎サービス」が11月で5年目を迎えました。

どこまで続くか不安を持ちながら始めたこのサービスですが、町内の高齢者に浸透し、現在の利用者は当初の3倍にも膨れ上がり、大賑わいです。

場 所 西川登町大字神六
20583番地
開所日 月・金 8:30～12:00
火・水・木 8:30～15:00
(年末年始・お盆・祝日は休所)



5周年記念式典記念撮影 令和5年11月4日



子ども達とのふれあい

みんなで楽しく認知症予防



井戸端会議に花が咲く

参考にしたいと視察も相次いでいます!!



県内外からの多数の視察におおわらわ...
ですが、おばあちゃん達は慣れたもので...動じません。



第2層協議体

つなごうやまうち

山内保健センターに気軽に立ち寄れる健幸づくりの拠点として『つなごうやまうちネットワーク』を開所しました。今は部会活動が中心となっていますが、地域の皆さんに居心地よく利用してもらえる拠点を目指しています。

活動内容

- ワーカーズ部会
(生活支援の仕組みづくり)
- エンジョイカルチャー部会
(お楽しみ活動とサロン推進)
- ファーマーズ部会
(生き活き畑の農作業と収穫活動)
- からだ動かし隊
(軽運動やサロン出前活動)



恒例になった
「芋ほり」と
「料理教室&お食事会」

いただきます!!

サロンでの
「モルック」や
「いごてだま」体験



場 所 山内保健センター(さざんか荘となり)
開所日 談話が出来る事務室(月・水・金曜日10:00~13:00)
趣味や会議が出来る機能訓練室(水曜日10:00~12:00)
※年末年始・お盆・祝日・健診日等は利用できません。
問合せ (0954)45-3262

第2層協議体

一心助け隊きたがた

メンバー構成

- 区長会 ●民生委員児童員連絡協議会
- 老人クラブ連合会 ●北方公民館
- 自治公民館長会 ●婦人会
- ボランティア連絡協議会北方ブロック
- JA女性部 ●商工会
- 北方地区社会福祉協議会

北方町の皆さんが気軽に立ち寄れる
集いの場として
『よりあい処一心助け隊』を開所しています。

活動内容

- 協議体会議開催
- 一心助け隊きたがた通信の発行
- よりあい処一心助け隊の運営
- 介護予防や趣味活動の推進
- 生活支援の推進
- フードバンク

生活支援



百歳体操の風景



工作クラブの風景



買い物支援の風景

場 所 旧北方水道庁舎(ダイレックス裏) 北方町大字志久1581番地1
開所日 火・木 時 間 9:00~12:00(年末年始・お盆・祝日は休所)



お問い合わせ先

武雄市地域包括支援センター

TEL(0954)23-9135

第1層(市全域担当)

介護老人保健施設たんぽぽ

諸岡 正孝
林 英慶

TEL(0954)26-0311

第2層(各町担当)

武雄町：山田 紀子 (武雄市社会福祉協議会)

TEL(0954)26-8013

橘町：柿原 喜美子 (橘町まちづくり推進協議会)

TEL(0954)22-3884 (橘公民館内)

朝日町：下平 正樹 (介護老人保健施設たんぽぽ)

TEL(0954)26-0311

若木町：田中 明香 (特別養護老人ホームひいらぎ)

TEL(0954)20-8001 / 090-7453-0679

武内町：合田 有紀 (特別養護老人ホームひいらぎ)

TEL(0954)20-8001 / 080-1772-8980

東川登町：中村 雅徳 (東川登地区社会福祉協議会)

TEL(0954)33-0929

西川登町：井手 大補 (西川登地区社会福祉協議会)

TEL.(0954)33-0511

山内町：成松 薫 (山内地区社会福祉協議会)

TEL.(0954)45-5165

北方町：古賀 明 (特別養護老人ホーム杏花苑)

TEL.(0954)36-5353 / 080-2780-6348

わたしたち

生活支援コーディネーター

です。

